

2021年6月1日

イオン東北株式会社

6月「環境月間」は、身近な環境保全への取り組みを改めて考える機会に イオン東北の環境への取り組みについて 今後もお客さまとともに環境保全へ取り組んでまいります

イオン東北株式会社（本社：秋田県秋田市、代表取締役社長：辻 雅信 以下、当社）は、「環境月間」である6月に「買物袋持参運動」など環境に配慮したキャンペーンを推進してまいりますので、ご案内申し上げます。

イオンでは、1991年からお客さまにマイバッグ持参を呼びかける「買物袋持参運動」をスタートし、2007年には日本全国のチェーンストアとして初めて食品売場でのレジ袋の無料配布中止を開始しました。2019年には、トップバリュより「リサイクル原料を使った買い物袋」の販売を開始し、本年5月より順次同シリーズよりディズニーデザインの商品を全国で順次発売しています。当社でも、ディズニーデザインの「トップバリュ リサイクル原料を使った買い物袋」を5月22日（土）より順次発売し、ご好評いただいております。

当社では、2008年より順次レジ袋の無料配布中止を開始し、2020年4月には、7月からの「プラスチック製買物袋有料化」に先駆け全156店舗でレジ袋の無料配布を中止しています。全店舗で無料配布を中止してからは2021年4月時点の辞退率は83.2%を超え、2019年までの辞退率64.2%*から大幅に辞退率が向上しています。有料で販売したレジ袋の収益金は、自治体などを通して地域の環境保全活動などにお役立ていただいております。レジ袋をご利用いただいたお客さまも環境保全活動にご参加いただける仕組みになっております。

※経営統合前の旧マックスバリュ東北株式会社での数値です。



「リサイクル原料を使った買い物袋」や「マイバスケット」の売場の様子

当社は、6月の「環境月間」に合わせ、新発売の「トップバリュ リサイクル原料を使った買い物袋 ディズニーデザイン」など繰り返し使えるエコバッグの持参を呼び掛け、今後ともお客さまとともに環境に配慮した取り組みを推進してまいります。